



Title	語用論における文脈の範囲についての一考察
Author(s)	金谷, 由美子
Citation	日本語・日本文化研究. 2022, 32, p. 52-81
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/90719
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

語用論における文脈の範囲についての一考察

金谷 由美子

1. はじめに

本稿は、「どうせ」の意味とそのはたらきについて、よく似た意味を持つとされる韓国語の副詞「어차피（於此彼）eochapi」¹（以下「於此彼」と漢字で表記する）と対照させる過程で、言語の分析に必要な「文脈」とは何かについて気づいたことを述べることを目的とする。また、「どうせ」と「於此彼」の違いについても述べる。

先行研究では、「どうせ」文の意味の分析をする際に、「どうせ P、Q」という形式を設定し、かつ、Pを「どうせ」と同じ節内に存在する文の成分に限定することが当たり前のように行われてきた。単文にしろ、従属節を伴う文にしろ、句点を跨ぐ複数の文を対象とする場合にしろ、「どうせ」文の分析には言語化された文成分に P と Q をあてはめるということが専らなされてきたということである。また、多くの研究が「どうせ」に多義がみられるのは、文脈によるものであるとしながら、その意味がどのように語用論的に表出されるのかについての説明は不十分なものだった。「どうせ」文の理解にどこまでの範囲を文脈として必要とするのかという点が明確にされていなかったと言い換えることができよう。

加藤（2016）の整理によれば、「文脈」という用語の意味するところは語用論の研究者によってまちまちである。文脈無しには話者の伝達したい意味内容を聞き手が正確に受け取することは不可能である。同じ「あついね」も、「冷房をつけてほしい」という意図で言われていることもあれば、挨拶がわりの言葉であることもある。前後の発話だけでなく、言語化されていない発話の場の状況や、談話の参加者の過去から現在にいたる関係性、現在の立場も関係してくる場合がある。百科事典的知識と呼ばれる一般的な知識、また、聞き手がどれだけの情報を持っているかについての話し手の知識も関係する。但し、そのような膨大な範囲指定不可能な文脈がいつも発話の解釈に求められているわけではない。ある発話における文や単語の意味は、文脈無しには正確に解釈できないが、会話参加者に必要な一定の共通の知識があればよいのであって、すべての知識を共有している必要はないのである²。では、「どうせ」文ではどこまでを文脈としてみれば解釈できるのであろうか。

本稿では、「どうせ」文の解釈に必要な文脈が、選ぶべき選択肢《Q または-Q》が状況に存在しているかどうかであると主張する。また、「どうせ P」の P について、形式だけを見て「どうせ」と同じ節内の「どうせ」に続く文の成分と捉えるのではなく、文脈に存在する想定《かたまり》として捉えなおすことを主張する。P は「どうせ」と同じ節内にだけ存在するわけではなく、その前後の文や節も合わせた想定《かたまり》であり、言語化されていない状況や推論も含むものである。この《P のかたまり》は選ぶべき選択肢《Q または-Q》との関係で必要となる範囲内の情報を指すものである。このとき、《P のかたまり》は動か

ない状況であり、既定・予定両方を含む。

なお、選ぶべき選択肢《Q または-Q》の存在の有無を判断するためには、状況が明瞭にわかっている必要がある。時には言語化されていない Q の有無を判断するための文脈情報が必要である。そのため、本稿で取り上げる用例は先行研究の引用と一部書籍以外は TV ドラマの一場面から取ることにした。また、本稿における「於此彼」文の容認性は、日本で韓国語教師を職業とする韓国語母語話者 10 余名による判断である。日本語の「どうせ」文から「於此彼」文への翻訳可能性を探る場合、韓国語への翻訳文を見せて容認性を測るのではなく、ドラマの一場面の状況と文脈を提供し、日本語文と同様の内容を言う場合に「於此彼」の使用が可能かどうかを調査することによって判断した。紙面の都合で韓国語の用例は一つだけに留めるが、引用した日本語の「どうせ」のドラマ用例は、すべて「於此彼」に翻訳できるかどうかについて韓国語母語話者に容認度チェックを済ませた。

以下、本稿では、まず、第 2 節で「どうせ」のはたらきに関する本稿の基本的な考え方を説明する。第 3 節では、「どうせ」文の形式の捉え方について論じる。第 4 節では、多義性と形式の関係が目立つものについて論じ、最後に、「選択肢の存在」という文脈が語の容認性に影響を与えることの重要性について述べてまとめる。

2. 本稿における「どうせ」文と「於此彼」文の意味

2.1. 先行研究

「どうせ」の多義に関する研究の流れには大きくわけて二つある。代表例として渡辺 (2001) を挙げよう。

- (1) 「どうせ行くならビジネスクラスで楽に行きましょうよ。」(渡辺 2001)
- (2) 「あなたが自分で頼みにいったってどうせ断られるわよ。」(渡辺 2001)

ひとつは、用例 (1) に「前向き・明るい・中立的」、用例 (2) に、「あきらめ・暗い・否定的」のような多義を認めるもの (森田 1989, 小矢野 2000, 渡辺 2001, 菊地 2005) である。

もうひとつは、このように多義とされる「どうせ」の意味が、語用論的に表わされるという立場 (Maynard 1993, 森本 1994, 武内 2015) である。Maynard (1993) のディスコース・モダリティ (discourse modality) 論は「どうせ」の意味は「どうせ」が現れる文脈 (context) によるものであると言う。森本 (1994) も、「どうせ」が「あきらめ」のような気持ちを表したりするのは、語用論的に説明されるべきだとしている。この点では、本稿の基本的な考え方と同じだが、森本 (1994) も Maynard (1993) と同様に、あくまでも話し手の主観の表出に着目している点で、次の関連性理論に基づく武内 (2015) とは大きく異なる。

武内 (2015) は、関連性理論の立場から「どうせ」そのものに「概念的意味」があることは認めず、「解釈過程を建てる手がかりを与え、よって認知効果の行き着く先を指示する形

式」であり「手続き的意味」を持つとした。話し手の主観ではなく、聞き手の認知に話し手がどう働きかけるかという点を重視にしている点で他の先行研究と異なる。

「どうせ」は林禊映(2015)によれば、近世以降用例が現れ、「どう」に「す(る)」の命令形「せ」が続き「どうするにせよ」にあたる語源を持つ。一方、韓国語の「於此彼」は漢語で「(此) こうしても、(彼) ああしても」という字義を持ち、日本語の「どうせ」と字義的にも現在の意味も近い³。韓国語が統語的にも語彙的にも日本語と平行的であることは度々指摘されているが、それは「どうせ」や「於此彼」のような、語用論的説明を必要とする副詞についても言えることである。「どうせ」と「於此彼」も、一見すると翻訳が簡単にできるように見えるが、必ずしも一対一対応しているわけではない。本稿では、「どうせ」の意味を大きく二つに分けたが、そのうち、韓国語の「於此彼」とも共通する用法を〈Ⅰ〉選択肢提示型、日本語の「どうせ」だけにあり「於此彼」にはない「どうせ」の用法を〈Ⅱ〉確信不問型と名付けた。このような日韓の類義語の微妙な違いを追究することは双方の言語の分析に貢献すると考えるが、「どうせ」と「於此彼」の対照を試みた研究は、管見の限り呉珠熙(2010)のみである。

〈Ⅰ〉選択肢提示型の「どうせ」を武内(2015)同様、手続き的意味を持つ談話標識と考える。但し、武内(2015)の基本的立場には同意するものの、《どうせ P, Q》における P と Q の認定の仕方や、両者の関係についての論では、言説がぶれる箇所があり不明瞭であるため、本稿ではこのあたりを中心に論じることになる。

2.2. 基本的な考え方

本稿では解釈に必要な文脈とは何かという観点から、「どうせ」文を大きく二つに分けた。「どうせ」と「於此彼」の両者に共通する〈Ⅰ〉選択肢提示型と、日本語の「どうせ」だけにだけあり「於此彼」にはない〈Ⅱ〉確信不問型である。

〈Ⅰ〉選択肢提示型

「どうせ／於此彼《P, Q》」において「どうせ／於此彼」は、《動かない状況 P》という想定を聞き手の意識の中で想起させることによって顕在化させ、想定にある選択肢《[Q] or [-Q]》と P を組み合わせたときに、選択肢のどちらが合理的であるかを示し、より合理的な選択肢 Q が選ばれたことを示す談話標識である。

〈Ⅱ〉確信不問型

「どうせ」には、「於此彼」とは異なり、文脈に選択肢がない状況で使われる用法がある。「どうせ P」の P を確信しているという意味で使われており、P の命題内容について話し手が、蓋然性が高いと考えていること、かつ、否定的な内容であると捉えていることを表す推量の副詞である。

選択肢《Q または-Q》が存在している文脈であれば、韓国語の「於此彼」と同様に、動かない状況として《P のかたまり》が示される。選択肢が文脈に存在しない場合は、〈Ⅱ〉確信不問型となり、言語化された P の内容を話し手が確信していることを示す。この場合、「どうせ」は蓋然性を表す副詞のはたらきをしているとみてよいが、「きっと」「おそらく」とは異なり、その命題内容に対して否定的な態度の表出がある。

まず、「於此彼」と共通の〈Ⅰ〉選択肢提示型の用例がどのようなものか、韓国語の用例を見られたい。

(3) 脳腫瘍で余命数ヶ月の男性が、自宅で担当医からの電話を取る場面：

患者： 「네, 박사님 어제는 날씨 완전 좋지요.」

(こんにちは、先生。今日は天気がとてもいいですね。)

医師： 「생각을 좀 해봤어요? 오늘이라도 당장 입원합시다.」

(考えてみましたか？今日にでもすぐ入院しましょう。)

患者： 「그래봤자 병원에서 죽는거잖아요.」

(...そんなことしたって、病院で死ぬんじゃないですか。)

医師： 「그래도 입원해서 치료를 받으면...」

(それでも、入院して治療を受ければ...)

患者： 「어차피 죽긴 죽는 거잖아요. 병원에서.」

({於此彼／どうせ}、死ぬのは死ぬんでしょ。病院で。)

医師： 「(嘆息) 의사로서 더 이상 이렇게 열중쉬어하고 못있어요.

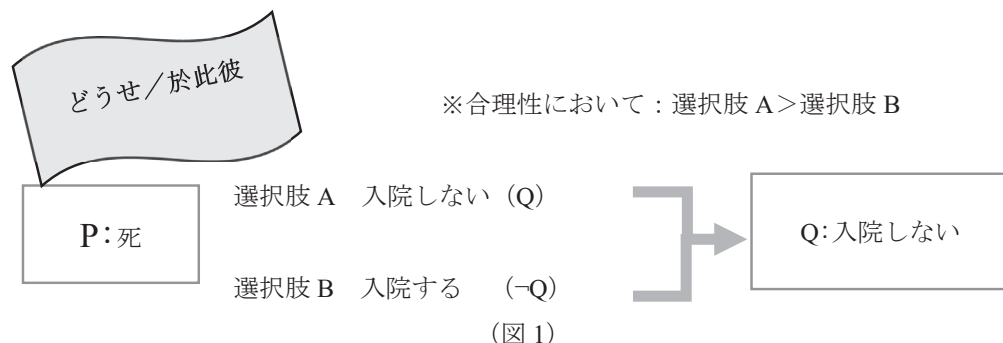
가족들에게 알릴 겁니다.」

(嘆息) 医者として、これ以上黙っているわけにはいきません。ご家族にお知らせします。)

《함부로 애듯하게 (邦題：むやみに切なく)》第 14 話 韓国 KBS (2016)

「於此彼」を「どうせ」に交替させても何ら違和感のない用例である。日本語字幕版では、「於此彼」文ではない一つ前の患者の台詞の翻訳字幕に「どうせ死ぬんでしょ。」(KNTV) となっている。この 1 分足らずの短い対話の中で「入院しない」という患者の選択が、言語化されていないにも拘らず、確実に聞き手である医師とドラマの視聴者に伝達されている点に注目されたい。患者は、「...そんなことしたって、結局病院で死ぬんじゃないですか。」と「於此彼、死ぬのは死ぬんでしょ。病院で。」としか言っていない。それでも状況から医師には「入院しない」ということを選択した患者の意志が伝わるのである。ここで、《P のかたまり》は、主人公が回復の見込みのない病気にかかっているということであり、選択肢《Q または-Q》は「入院しない」のか「入院する」のかである。そして話し手である患者が選んだ選択肢 Q は「入院しない」ことである。

用例（3）を本稿の〈Ⅰ〉選択肢提示型の考え方にに基づき図式化したものが（図1）である。「どうせ」と「於此彼」は談話の論理的な流れを予告する談話標識として、聞き手の注意をPに引いていると考える。「どうせ」と「於此彼」が存在することによって、選択肢《Q または-Q》の存在とPが関連付けられやすくなる。つまり、選択肢《Q または-Q》に関連してPを述べているということが聞き手に伝達される。結果として、聞き手側の推論が促され、選択肢Qを選んだことが伝わりやすくなる。



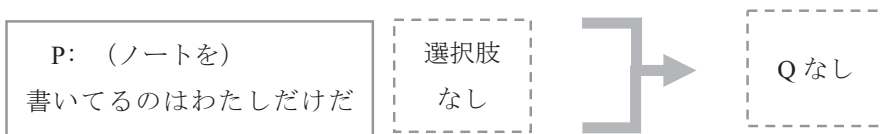
このPの《動かない状況》というのは、この用例の「死に至る」のように未来のできごとを含む場合もあれば、既にその状況が成立している場合もある。

次に見る〈Ⅱ〉確信不問型では、Pは《動かない状況》ではなく、事実だろうと話し手が確信していることを表す表現である。〈Ⅱ〉確信不問型とは、次のように、選ばれた選択肢Qがないものである。

- (4) 沙絵が大学のラウンジで、置きノートを読んでいる。そこへ友人がやってくる場面：
友人：「沙絵！ 恥ずかしいな。{*於此彼／どうせ} 私だけでしょ。ノート書いてるの。」
沙絵：「誰か書いているよ。ほら。」（置きノートを見せる）

『オレンジデイズ』第4話（TBS 2004）

なぜ、(4)では「於此彼」が不適格になるのだろうか。その理由は、この場面を選ぶべき選択肢《Q または-Q》がもともと存在していないためであると考えられる。韓国ドラマ48本で「於此彼」を調査した結果、韓国語の「於此彼」には(3)のような選択肢が必要であることが確認できた。（紙面の都合上、(3)以外の用例を紹介することはできない。）



(図2)

〈Ⅱ〉確信不問型は、内容的には推量を表す文となる。断定的なものもあるが、文末には推量や命題確認のモダリティが現れる場合が多い。

(5) 「これ、どうせヨコヤさんの指示だろ？怖いよな。あの人は。」

《LIAR GAME》第9話（フジテレビ 2007）

(6) 遅くまで会社で仕事をする半沢に同僚が夜食を差し入れる場面：

同僚 A：「お～い、生きてるかい？」

同僚 B：「どうせ何も食ってないんだろ。」

同僚 A：「はい、牛丼です。」（と言いながら、牛丼の包みを置く）

《半沢直樹》第7話（TBS2013）

(5) (6) のような例でわかるように、〈Ⅱ〉確信不問型の場合、話し手は「どうせ」文の命題内容に関して否定的ではあるが、だからといって話し手が聞き手に向かって否定的な態度であるとは限らない。また、文末が推量を表すモダリティ形式だからといって、〈Ⅱ〉確信不問型であるとは限らないことにも注意が必要である。

(7) 合コンを開催する話が出ている場面：

学生 A：「どうせまたセクハラするだけでしょ!？」

学生 B：「誰が行くか。」

《のだめカンタービレ》第5話（フジテレビ 2006）

この場面では、談話参加者の共通の理解として、ある人物から提案された合コンに行くか行かないかという選択肢が存在している。そのような場合の「どうせ」文は、韓国語の「於此彼」にも翻訳可能な〈Ⅰ〉選択肢提示型である。発話の状況の中に選択肢があるかないかということを聞き手は瞬時に判断し、選択肢 Q が何かという解釈が聞き手の推論により決定されることになる。

本稿の「どうせ」を二種に分類する考え方に最も近い研究は菊地（2005）や呉珠熙（2010）であるが、いずれも、想定 of 《かたまり》として P を捉えてはいない点で本稿とは異なる。菊地（2005）では、「方策」Q が存在する「どうせ」文を「典型」（〈Ⅰ〉に近い）と呼び、「方策」がないものを非典型（〈Ⅱ〉に近い）と呼んでいる。呉珠熙（2010）では、当該事態 P と後続事態 Q を設定し、後続事態 Q が無いものがあるとした。但し、菊地（2005）も呉珠熙（2010）も P や Q の捉え方に関しては、基本的に P は「どうせ」のすぐ後ろの文の成分を指している点、言語化された形式をもとに分析している点で本稿と大きく異なる。

2.3. 「どうせ」と「於此彼」の非条件性

「どうせ」も「於此彼」も字義である「Qでも¬Qでも」から来ていると考えられ、「選択条件のどちらもが同一の帰結に結びつくことにより生じる非条件性が現れる選択並列性譲歩条件構文」(藤井 2002)が、一単語になったものとする。藤井(2002)によれば、非条件性とは、「発話の前提として話者が想定した一般知識のモデルにおいて、帰結の事態が、前件の事態にかかわらず(前件の事態の肯・否定値にかかわらず)成立する」ことである。

この指摘は、有田(2010)でも *unconditionality* として触れられており、非条件性という用語の使用はないものの、渡辺(2001)にもみられる。渡辺(2001)は、《どうせ P、Q》の文において、「非 P (P とは反対の事実) が成立する可能性を思い描いて、やはりそんなことはない」と否定し、その上で Q を選択する」とまとめている。渡辺(2001)の「非 P か P か」という部分は、「どうせ」文が持つ非条件性のことを言っていると考えられるが、本稿では、思い描いているのは、「非 P か P か」ではなく、Q (入院しない) か非 Q (入院する) かである点で異なる。(3) の「どうせ」文を言い換えた (3') を見られたい。

(3) 患者：「どうせ死ぬのは死ぬんでしょ。病院で。」(Q:入院しない)

(3') 患者：「どうせ入院してもしなくても、死ぬんでしょ。」

渡辺(2001)のこの「非 P か P か」という考えは、おそらくは(3)の「どうせ」文の内容を条件節の形式に言い換えた場合の文(3')において、「入院してもしなくても」の部分で P と捉えるところからの着想だと思われる。形式として「どうせ」に続く文の成分を P と捉えるということが先行研究では度々行われてきた。その場合、(3') では、選択肢入院してもしなくてもが P とされてきたし、(3) では、死ぬのは死ぬんでしょが P とされることになったのである。本稿では、(3') は《入院してもしなくても、死ぬんでしょ。》全体が《P のかたまり》であり、Q は言語化されていない「入院しない」であると整理するため、(3') の文も(3)の「どうせ死ぬのは死ぬんでしょ。病院で。」と同じ《P、Q》を持つという分析となる。本稿の主張で強調したい点はここである。このように「どうせ」文を分析する際には、言語化された表面的な形式を機械的に P、Q とするのではなく、必要な文脈として、推論も含めた意味内容を持つ《P、Q》を捉える必要があるのである。

2.4. モダリティ副詞か談話標識 (discourse marker) か

「どうせ」のような語彙をどう分類すればいいのかという問題と文の中でその語彙が何をしているのかという問題は不可分である。〈Ⅱ〉確信不問型の「どうせ」は、「おそらく」や「多分」のように、話し手の命題に対する蓋然性の判断と、命題内容に対する否定的な心的態度を示している。一方、選択肢提示型〈Ⅰ〉の「どうせ」はさらに概念的な意味が薄れ、

聞き手の情報処理に貢献する手続き的意味を持っていると見ることができる。本稿では、この〈Ⅰ〉選択肢提示型については談話標識とし、〈Ⅱ〉確信不問型については、近年の研究で使用されているモダリティ副詞という呼び方を採用する。

ひとつの単語が多義性を持つ場合、品詞が同じとは限らない。文法化によって脱範疇化が見られることも多い。このようなことは、少し辞書をめくれば多くの言語で観察することができる通言語的な現象である。例えば、英語の *so* も、*so many things* では副詞、*I think so* では先行語に照応する補語の *so*、接続詞の *so* については、前件から結論を導く接続詞のはたらしのほか、「だから」のような意味で使う談話標識としても度々分析されている (Shiffrin1987, Blakemore1988, 西川 2016)。日本語の「だから」も辞書の解説では理由を表す接続詞であるが、談話標識として捉えた議論がある (谷崎 1994, Matsui2002)。

一般的に副詞の下位分類は「ゆっくり」のような様態を表わす状態副詞 (または情態副詞)、「とても」のような程度副詞、「もし」のような陳述副詞の三種に分けられるが、すっきりと分類できるものではない。『日本語文法事典』「副詞 1」「副詞 2」(工藤・矢澤 2014) を見ても、副詞類をどう分類するかが、日本語の副詞研究における中心的な課題であったことがよくわかる。中でも、本稿とのかかわりでは、渡辺 (1980、1996、2001) が重要である。渡辺 (1980) は、「せっかく」を例に、このような話し手側の「主観的評価」について複雑な説明を必要とする副詞を「見越しの評価」を表す副詞と呼んだ⁴。加えて、渡辺 (1996) でも「評価の副詞」の節で「せっかく」と共に「どうせ」にも言及しており、さらに渡辺 (2001) は、「どうせ」を「せっかく」とよく似た方法で説明を試みていることから、「どうせ」も「せっかく」に近い「見越しの評価」を持つ単語だと考えていたのではないかと思われる。渡辺 (1980) の議論で重要なのは、これらの「見越しの評価」を表す語が「叙述内容 (述語によってまとめられる対象的事態の内容)」の知的内容量に何ら増減の影響をおよぼすことなく、叙述内容に対する話者の評価を表す、という性質を持つもの」であるとしている点だ。これを中右 (1980) の言葉で言い換えれば、叙述内容の「命題外」の副詞であるということになるだろう。中右 (1980) は「命題外副詞は、モダリティを表明することはあっても、命題の一部となることは決してない。つまり、命題内容の増減にかかわることは決してないのである。」と述べている。

この命題外かどうかを見るためのテストとして高見 (1985) は、談話レベルの文照応テストを紹介している。ここでは、Maynard (1993) の「どうせ」文の照応テストの例を見よう。

(8) のように、先行する文を、「それ (そう)」で受けた場合に、その命題の中にその語句が含まれていなければ、命題外となる。

(8) どうせパーティははやく終わるだろう。

それはよくあることで、みんな承知している。

(Maynard1993)

(8)の「それ」の指す内容に、「どうせ」は含まれない。一方、形容詞の副詞的用法である「はやく」は「それ」が指すものに含まれるため「命題内」となる。

中右(1980)は、文の意味内容を「命題(内容)とモダリティとの2大成分から成る」とし、副詞も命題内に含まれるものと命題外のモダリティ副詞に分かれ、後者は「発話時における話者の心的態度」を表すとした。中右(1980)以降、文の命題外の内容を指すものとして「モダリティ副詞」という呼び方が定着したようである。例えば、工藤(1982)では、副詞の分類として叙法性(modality)を持つものとして叙法副詞というカテゴリーを立て、その中に「どうせ」を含めた。小矢野(1996)では、「文の対象的な内容に対する話し手の把握のしかたや聞き手に対する伝達的な態度を表現する副詞(類)の総称」として「モダリティ副詞」という用語を使っている。「文＝命題＋モダリティ」(益岡1991、仁田1991)という考え方が日本語学で広く受け入れられた結果、話し手の主観を「モダリティ」と呼ぶことが一般的になったことも「モダリティ」という用語が副詞研究でも広く使用されるようになった背景だと思われる。

しかしながら、「モダリティ」という用語も、また、これを使ったからと言って、すべてがすっきりと分類できるというわけではなかった。命題外副詞といっても一枚岩ではないことは、中右(1980)でも指摘されている。中右(1980)は、英語の文副詞を例に、Frankly(率直に言って)のような命題内容の提示の仕方を表すものと、Wisely(賢明にも)のように、命題内容そのものへの話し手の心的態度を表すものとは区別すべきであり、前者はモダリティ副詞の下位分類として「発話行為の副詞」とであるとしている。

本稿では、〈Ⅱ〉確信不問型の「どうせ」に関しては命題内容の提示の仕方、あるいは命題内容への話し手の心的態度を表しているものと見てよいと考えるが、〈Ⅰ〉選択肢提示型に関しては談話標識という用語を用いることにした。

談話標識(discourse marker)の研究は、英語では Shiffrin(1987)の and, but, or, I mean, you know 等の語句の研究から始まり、品詞を超えたカテゴリーであると言える。加藤(2016)は、談話標識を「語用論的な処理に関する指示や方向提示の機能を持つ、メタ語用的な標識」であり、「論理関係の明示以外に予告や緩衝など多様な機能を持つ」と定義している。文の命題内容の一部ではなく、その解釈に影響を与える役割を持つと考えられる。加えて、「関連性理論では、談話標識は手続き的意味を表わし、論理処理を指示すると考える」と整理した。本稿の〈Ⅰ〉選択肢提示型の「どうせ」の果たす意味役割についての考え方は、関連性理論(Sperber and Wilson 1993)における「手続き的意味」の考え方に近い。発話は聞き手の認知に変化をもたらす意図のもとになされるものであるという前提のもとに、〈Ⅰ〉選択肢提示型の「どうせ」は、聞き手に概念的な(conceptual)意味を与えるのではなく、手続き的な(procedural)意味、すなわち、聞き手の情報処理に役立つ単語であると考えたのである。

2.5. 想定(assumption) Pを顕在化させるはたらき

『英語学・言語学用語辞典』によれば、「想定 (assumption)」は関連性理論 (Sperber and Wilson 1995) の用語であり、「個人の情報や思考単位などの知識情報を指す。表意も想定のみであり、百科事典的知識、社会的知識など推意の計算に用いる聞き手の知識も想定のかたまりである。本稿では、この関連性理論の「想定」という用語を援用した。

同じ文でも、コンテキストによって意味が変わることについて、関連性理論では、文脈想定 (contextual assumption) という用語を使って説明する。武内 (2015) は、「特定の方向で解釈してもらうために、話し手は必要な文脈想定を即座に聞き手がよび出せると見積もらなければならない。同じ発話が、よび出す文脈が違ったらまったく異なる結論を導き出すことがあるからである。」とし、次のような用例を挙げている。

(9) 武内 (2015) の用例

a. (大阪にいる友人と電話で)

友人：「土曜日なのに今日はめずらしく家にいるね。」

一郎：「外は大雨なんだ。」

b. 母親：「一郎、ちょっと買い物に行ってきて。」

一郎：「外は大雨だよ。」

一郎の「外は大雨だ」という内容の発話が、(9) a のように電話で遠く離れた地域に住んでいる友人に「土曜日なのに珍しく家にいるね」と言われたときに発したものなのか、(9) b 一緒に住んでいる母親に「買い物に行ってきて」と頼まれたときに言われたときに発したものによって、導き出される推意が変わってくると言う。(9) a では、「大雨だからいつもは言っているテニスに今日は行っていない」ということが伝達され、(9) b では「買い物に行きたくない」が伝達される。(9) b では、「大雨のときには普通買い物に出たくないものだ」という社会通念が想定として必要であり、(9) a では、もっと個人的な「土曜日に一郎はいつもテニスをしに出かける」という一郎の習慣に関する知識が想定として共有されていることが必要とされる。(9) a の友人は、「テニス」を言語化しなくても、一郎には「テニスに行っていないだね」という意味が伝わると見積もっており、一方、一郎は自分の週末の習慣に関する知識が聞き手にあることをわかった上で、テニスについて言及せずとも「今日は大雨だからテニスに行っていないんだ」が、伝達されると見積もっていると考えられる。武内 (2015) は、また、関連性理論では、「特定の方向で解釈してもらうため」の想定は、初めから談話の当事者に共有されているとは限らず、当事者のどちらかだけが持っていたものが発話によってもう一方にも共有される場合もあると解説している。本稿では、このような文脈上に呼び起こされたり、導入されたり、また、解釈上必要とされたりする、談話の当事者の頭の中にある“こと”を呼ぶのに「想定」という用語を用いる。

「想起させる」とは、「知っている場合」も「知らない場合」も「知っているが頭の中に

浮かんでいない場合」もすべてひっくるめて、聞き手の頭に P という想定を浮上させるという意味である。Sperber and Wilson (1995) では、「想定 (assumption)」と「コンテキスト (context)」の関係についての箇所で、「発話の解釈において、コンテキストは聞き手の世界に対する想定の部分集合であり、実際の世界の状況よりも、むしろ、この想定が発話の解釈に影響する」と説明している。様々な知識と情報の中から、伝達によって想起された想定が発話の解釈を左右するということである。

「どうせ P」における P について、Maynard (1993) では、(10) 「*どうせ 火事だ！」のような予期せぬことを知らせる発話では「どうせ」が使用できないことを挙げ、その理由が「どうせ」はその情報が談話の当事者達に共有されていないからであるとしている (When using *doose*, the speaker normally assumes some information commonly shared among participants. Maynard 1993)。確かに、「火事だ！」のように、単純に何か気がついたことを述べる文では、「どうせ」は使用できない。しかし、「どうせ P」における P が発話の前段階から聞き手に共有されている必要はなく、「どうせ P」の文で初めて聞き手に知らされる内容でも構わない。

(11) 古美門弁護士が依頼を断る理由を四つ述べる場面：

依頼人：「今日法廷で見て確かにお二人しかいないと確信しました！ お願いします、
助けて下さい！」（一同声をそろえて、お願いします！）

黛：「勿論！」

古美門：「お断りします！」

黛：「ええっ？！」

（中略）

古美門：「三つ、どうせ勝てない。」

黛：「分からないじゃないですか。」

古美門：「絶対に勝てっこない。」

《リーガルハイ》第9話フジテレビ (2012)

この場面では、弁護士二人が弁護を引き受けてくれるよう依頼される。同事務所の弁護士である黛は、当然この依頼を引き受けるものだと思い、依頼人に向かって「勿論！」と言うのに対して、古美門は断ると言う。黛は、同僚の古美門が敏腕弁護士であり、この訴訟に勝てば莫大な報酬が得られることがわかっているの、あっさり断ったことに驚く。古美門は、黛にとっては新しい情報である《P:勝てない》を与えることによって、《P:勝てない》から《Q:断る》という自身の合理的な判断を伝えるのである。

3. 「どうせ」文の形式と《P, Q》について

本稿の「どうせ」文の議論が先行研究と最も異なる点は、「どうせ」文における《P, Q》

を、構文形式にとらわれずに、言語化されていない非明示的なものを含めて意味内容によって設定したことである。先行研究では、Pは「どうせ」の直後の成分を指す「どうせP」として、「どうせ」を含む従属節や単文の命題内容だけをPとしてきた。先行研究では、このような言語化された形式に縛られた捉え方のために、《P, Q》を正確に読み取れず、ひいては、それが、語用論的な意味の分析にも影響を与えていたと考える。第3節では、先行研究が言語化された形式上のP, Qを扱うことの問題点について、具体例を挙げて指摘しつつ、「どうせ」文の形式を整理する。

3.1. 《Pのかたまり》と「どうせ」の位置

先行研究の多くは、「どうせ」文が従属節か主節か、あるいはどんなモダリティ形式がくるのか、「どうせ《P, Q》」なのか、「どうせPだ」なのか、等の構文形式に着目した分析を行ってきた（小矢野 2000、今西 2002、有田 2005、2006、2010、呉珠熙 2010、蓮沼 2014）。小矢野（2000）や蓮沼（2014）では、文レベルの分析では不十分で、連文および談話レベルで分析する必要性は指摘されているものの、この「どうせ《P, Q》」をどう定めるかというところで納得がいく説明がなされているとはいいがたい。多くの先行研究で、本稿で《Pのかたまり》の一部であると見做しているものを「Q」とし、議論しているケースが見られる。

例えば、小矢野（2000）は、「どうせ」が「従属節の内部に収まらない」タイプとして次の（12）（13）のような例を挙げ、「どうせ」の位置がa、bのどちらでもいい文が存在していると指摘している。

（12）「a.どうせ会社に行ったって、b.どうせ伸子は来ていないのだ。」

『女社長に乾杯！』（小矢野 2000）

（13）「ナニ、これが普通の選挙の場合なら、黙って帰りますサ。a.どうせ僕なぞがいたところで、b.どうせ大した応援も出来ませんからねえ。」 『破戒』（小矢野 2000）

本稿では、（12）も（13）も前半部分だけでなく後半部分も《Pのかたまり》の一部であると考え。また、このように見ることによって、「どうせ」は、《Pのかたまり》の中であれば位置が自由であると捉えなおすことができた。（12）も（13）もa、bのどちらの位置に「どうせ」があっても大きな違いはない。（12）では、「行かない」という選択肢Qは言語化されていないが、「どうせ」の位置に拘わらず、同じ選択肢Qを選んだと読み取ることができる。（12）には、形式上は主節があり、それがQであるかのように見えても、実のところ、言語化されている文は、後件を併せても《P→P'》で終わる《Pのかたまり》なのである。選択肢Qは「どうせ」文以外の前後の文に言語化されているか、言語化されていない場合は、聞き手が推論によって解釈することになる。

（13）の場合は、もう少し複雑である。《P→P'：僕なぞがいたところで大した応援もでき

ませんから》が、前方にある選択肢と思われる文「普通の選挙の場合なら黙って帰りますサ」に一旦つながる。但し、ここでは「普通の選挙なら黙って帰る」ということから、「これは普通の選挙ではないので帰りません」という選ばれた選択肢Qを表明していることになる。このような関係になっていることは、表面上の言語化されたものを文字通りに解釈しただけでは整理できない。

次に蓮沼(2014)における「どうせ」文のうち、単文の連文機能に関する論文の例を見よう。蓮沼(2014)は、「どうせ」文を、形式から次の4種類に分けた。

- (i) 「どうせ P。」(独立文での使用)
- (ii) 「どうせ P (ノダ) カラ/シ, Q」(原因・理由節での使用での使用)
- (iii) 「どうせ P (ノ) ナラ, Q」(仮定条件節での使用)
- (iv) 「どうせナラ, Q」(圧縮表現での使用)

蓮沼(2014)では、とりわけ独立文での「どうせ P。」に着目し、連文の文脈を踏まえた分析を試みている。(i) 独立文「どうせ P だ。」を、さらに P の機能をもとに(14)で示す4つのタイプに分類し、用例を示している。蓮沼(2014)では、基本的に P と Q の関係は根拠と帰結とされていること、(14)の用例における P や Q は、蓮沼(2014)の意味(「どうせ」のすぐ後の文成分が P)であり、本稿の《P, Q》とは異なることに注意されたい。

(14) 蓮沼(2014) 独立文「どうせ P。」連文における P の機能による分類：

①根拠用法：P が帰結 Q の根拠として機能する場合（波線=P、点線=Q）

（例）久井は、ちょっと唇の端をゆがめて、

「買収容疑で捕まっても知りませんよ」

と言った。せめてもの反抗である。

「払えよ〈帰結〉」

と妹尾が言った。「どうせ自分で出す金じゃあるまい〈根拠〉」

久井は、キーを手に、会計へと足を向けた。

赤川次郎『愛情物語』（蓮沼 2014）

②帰結用法：P が結論として機能する場合（波線=P）

（例）のちにロッキーと事件で小佐野が国会喚問されたとき、このときの「北陸館」の幹部がテレビを見ていて、思った。〈あいつのことだ〉〈根拠〉。とぼけにとぼけて、どうせ本当のことなどいいっこないよ〈帰結〉。昭和三十二年十月、「北陸館」は、ついにビルと土地を小佐野に取られてしまう。

木下英治『梟商：小佐野賢治の昭和戦国史』（蓮沼 2014）

③帰結・根拠用法：P が帰結・根拠の機能を兼務する場合

(波線=P、点線=Q、二つ目の〈根拠 2〉〈帰結 2〉は上付きで示した)

(例)「叫んだってどうせ聞こえないさ〈帰結 1〉^{〈根拠 2〉}。下はパーティの真つ最中なんだ
〈根拠 1〉。ここで二人でパーティしようせ、黒い髪のぼうや〈帰結 2〉。」

辻桐葉『英国紳士の野蛮なくちづけ』(蓮沼 2014)

④逆接用法：P と Q が逆接的關係の場合 (波線=P、点線=Q)

(例)「日本人は船旅など楽しめないし、自然の厳しさもわかっていないという文脈」
それがわかってないから、クイーンエリザベスだなんだって乗りにいこうとする。ダンス
パーティとかいろいろあってもどうせ踊れるわけじゃなし。かみさんとぽつんと二人で
座ってて何が面白いんだ？それだったら、変な提灯がぶらぶら釣ってある隅田川でみん
なで酒飲んだりカラオケやってる方が楽しいにきまっているんだよ、日本人は。

ビートたけし『だから私は嫌われる』(蓮沼 (2014))

①は「どうせ自分で出す金じゃあるまい。(損をするわけではないのだから) 払えよ。」と
いう流れで、本稿で言う選択肢 Q「払う」が「どうせ」の前方に来ているとみることができる。
意味的には本稿の〈I〉選択肢提示型にあたると考えられる。

②については、本稿では、用例全体の「あいつのことだ。とぼけにとぼけて、どうせ本当
のことなどいいっこないよ。」が《P のかたまり》であると見る。選択肢 Q は少なくともこ
の中にはない。確かに、「あいつのことだ」は「本当のことなどいいっこない」と考える根
拠ではあるが、本稿では蓮沼 (2014) のように②の「どうせ」に後続する成分を P、前文を
その根拠と見る立場は取らず、二つの文を合わせて、話し手が確信していることを述べてい
る P と解釈し、〈II〉確信不問型と捉える。この方が「どうせ」文を分析するのに有効であ
ることを次に説明する。

(14') ②は、(14) の②の最初の単文を従属節に書き換え、「どうせ」文に接続させたもの
と、単文のままのものを同時に示したものである。「どうせ」の位置も変化させた。

(14') ②

- a. あいつのことだ{。/から、}とぼけにとぼけて、どうせ本当のことなどいいっこないよ。
- b. あいつのことだ{。/から、}とぼけにとぼけて、本当のことなどどうせいいっこないよ。
- c. あいつのことだ{。/から、}どうせとぼけにとぼけて、本当のことなどいいっこないよ。
- d. どうせあいつのことだ{。/から、}とぼけにとぼけて、本当のことなどいいっこないよ。

まず、②の用例の「どうせ」の位置が原文の a 以外でもよいことを見られたい。座りの良さ

は多少異なるとしても、(14') b、c、d のいずれもが原文の a と同様の意味で解釈され、容認できるのではないだろうか。P を「どうせ」の直後にある文の成分だと捉える分析では、(14') d 「どうせあいつのことだ。」の場合は、「あいつのことだ。」の部分が P であるということになり、蓮沼(2014)の分析方法では(14)の①の根拠用法という同じであるという分析になる。ところが、②帰結用法から①根拠用法に変わっても、文全体としては、(14') a の原文と同じ意味を伝達していることに変わりはない。また、最初の単文をカラ節にして従属節化した場合も意味が変わるとは言えない。「どうせ」の位置だけでなく、「どうせ」文が独立文か独立文でないか、主節か従属節かという違いも、実は語用論的に生まれる意味とは関係がないのである。(形式と意味が関係するものに関しては、第4節で述べる。)

③についても、「どうせ」に続く「聞こえないさ」が「帰結・根拠の機能を兼務する」とは本稿では考えない。波線部分が発話の別の部分の根拠や帰結になること自体はあり得る。しかしながら、「どうせ」文として見たときには、通常、明示的 P や P' からなる《P のかたまり》があり、そこから選択肢がある場合は、選択肢 Q に聞き手の解釈が誘導され则认为。それゆえ、本稿の見方では、前の二つの単文の両方が《P のかたまり》であり、「どうせ」の位置も「《どうせ^a叫んだってどうせ^b聞こえないさ。どうせ^c下はパーティの真っ最中なんだ。》」ここで二人でパーティしようぜ、黒い髪の毛のぼうや。」のように《P のかたまり》の中であれば a、b、c のどこにあって意味は変わらない。三つ目の文「ここで二人でパーティしようぜ、黒い髪の毛のぼうや」がこの文の選択肢 Q である。

(14) ③の本稿の《P、Q》による分析：〈I〉選択肢提示型

P：下はパーティの真っ最中なんだ。叫んだってどうせ聞こえないさ。

⇒P'：(叫んだって誰もきてくれないから)

⇒Q：(助けを呼ぶことはあきらめて)

ここで二人でパーティしようぜ、黒い髪の毛のぼうや。

④については、「ダンスパーティとかいろいろあってもどうせ踊れるわけじゃなし。かみさんとぽつんと二人で座ってて何が面白いんだ？」までが《P のかたまり》で、「それだったら、変な提灯がぶらぶら釣ってある隅田川でみんなで酒飲んだりカラオケやってる方が楽しいにきまっているんだよ、日本人は。」が選ぶべき選択肢 Q と捉えなおすことができる。論理の展開としては逆接とは言えず、整理すると「どうせ踊れないなら隅田川でお酒を飲むほうがよい」という流れであり、意味的には本稿の〈I〉選択肢提示型である。

以上のような分析を踏まえ、本稿では次のように「どうせ《P、Q》」を整理する。

- ・《Pのかたまり》は言語化された形式の切れ目ではなく、意味内容で決まる。
Pの直後の成分でなく、Pを含む節の主節や従属節、Pを含む文の付近の単文を含めたまとまりをすべてPとみなす場合がある。推論も含まれる。
- ・「どうせ」の位置は《Pのかたまり》の中であれば、比較的自由である。
- ・Qは言語化されていない場合もあるが、選択肢があれば推論から導き出せる。
- ・これまでQとされてきた成分は《Pのかたまり》かまたはその一部の場合がある。

このように「どうせ」文を捉えなおすことにより、さまざまな形式を持つ「どうせ」文を言語化された形式に左右されず、語用論的に正確に分析することができると考える。「どうせ」の位置が《Pのかたまり》の中であれば比較的自由であることが「どうせ」文の分析の実践においてたいへん役に立つということを強調したい。

3.2. 言語化されないQと日本語の条件節

〈I〉選択肢提示型の「どうせ」文の場合、選択肢Qは存在するのだが、それにも拘わらずQは言語化されないことが多い。それはとりもなおさず「どうせ」文が《どうせP(P')》で終わっているということである。しかしながら、先行研究では《どうせP、P'》を度々《どうせP、Q》と捉えてきた。どうしてだろうか。3.2節では、これについて、日本語の条件文の主節の意味特徴との関係から考察する。

「どうせ」文〈I〉選択肢提示型では、その形式に拘わらず意味的にPの《動かない状況》を条件として提示しており、その意味ゆえにPを含む部分が条件節の形式をとることも多い。ところが、日本語の条件文では、前件（条件節）と後件（主節）の関係は圧倒的に後件の内容が前件からの当然の成り行きを表している場合が多く、その場合、後件が非意志的なものとなる。この日本語の条件文の特徴が、（レ）バ接続、タラ接続、テ（モ）接続では、《どうせP、P'》になりがちであることに結びつくのである。《どうせP、P'》のP'が度々先行研究において《どうせP、Q》と考えられてきたことも、この日本語の条件文の特徴と無縁ではなからう。なぜなら、選択肢Qは意志的に選ぶものであるため、このような条件文の後件（主節）に来ることはできないからである。

前田（2009）によれば、バ接続の後件には①前件が状態性を持つ場合（15）「ドラフトで一位に指名されなければ、（私は）入団しません。」や、②前件と後件で動作主体が異なる場合（16）「あなたが行けば（私も）行きます」のような例外を除き、非意志的なものが来るとされている。これに対して、タラ接続は、（17）「国に帰ったたら電話してください。」（前後件同一動作主、後件意志的）のように、バ接続に比べると後件に意志的なものが来やすい。とは言うものの、バ接続と同様、（18）「毛糸のセーターを洗濯機で洗ったら、着られなくな

った。」のような、後件が非意志的なものもある。では、「どうせ」文と相性のいいテモ接続はどうだろうか。

(19) (国試を受けるのかと聞かれて)「どうせ今年受けても受からないよ。」(作例)

言語化されていないが、受けるか受けないかの選択肢から「受けない」を選択肢 Q として選んだことが伝わる。「受けても受からない」の「受からない」は《P のかたまり》の一部であり、Q ではない。ドラマの用例を見てみよう。

(20) 孫たちとの関係がこじれている父親と娘の会話。

娘：「希衣ちゃんが今度幼稚園のお遊戯会で主役やるんだって。おじいちゃんも見に来てっていったよ。」

父親：「どうせ俺なんか行っても…。」

娘：「素直になったら？結ちゃんもせっかく気い使っていつてくれてるんだからさ。」

《家政婦のミタ》第7話(日本テレビ2011)

父親のセリフは言いさした後に口ごもる形になっているが、続きがあるとすれば、話し手の意志を含む内容ではなく、「どうせ俺なんか行っても孫はよろこばないだろう」という非意志的な展開を示すものになるだろう。選択肢 Q は「幼稚園のお遊戯会には行かない」であり、それはこの段階では言語化されていないが聞き手には十分伝わるのである。意志的である選択肢 Q は、そもそもこれら条件文の形式では、主節に入ることができない場合が多く、連文で前後に現れるか、言語化されないことが多いと考えられる。

一方、ナラ接続に関しては、主節に意志的なものが来ることが可能であるため、《どうせ P なら⇒ Q 》の形式になることが多いと考えられる。前田(2009)では、「たら、れば、と、なら」の使用の重なりとそれぞれの形式の守備範囲を比較し、前件・後件がともに意志的で、単に時間連続の動作でないものを表わすときは、ナラ接続でなければならないことを指摘している。また、タラも「のだ」が接続した場合である「んだったら」はナラ接続特有のものと置き換えられるということも指摘している。条件文の種類のうち、とりわけナラ節に「どうせ」がある文の多義について先行研究で度々言及があるのもこのためだと考えられる。日本語の条件節の中で、ナラ節は異色なのである。

渡辺(2001)のナラ節のある用例(1)とそうではない(2)を見られたい。

(1)「どうせ行くならビジネスクラスで楽に行きましょうよ。」(渡辺2001)(再掲)

(2)「あなたが自分で頼みにいったってどうせ断られるわよ。」(渡辺2001)(再掲)

(1) はこの一文の中に、《P:飛行機に乗って行く》という予定と、選ばれた選択肢《Q:ビジネスクラスの席で行く》が存在するため、この一文だけでも〈I〉選択肢提示型であることがわかりやすい。それに対して(2)の用例は、選択肢 Q が言語化されていないが、「頼みにいったって」という節の内容から選択肢 Q が「頼みに行くな」ということがわかる。

また、小矢野(2000)の指摘にもあるように《どうせ(P)なら／んだったら⇒Q》の形式の場合は、Pが消えた「どうせなら」という端折り形式がしばしば使われる。(1)も(1')「どうせならビジネスクラスで行きましょうよ。」と書き換えることが可能である。これは、「どうせ～するなら」の意味であり、何をするかは前後文脈や場面の状況でわかっている。例えば、(21)「どうせなら日比谷公園に行こう。あの中にめし食わせてくれる店がいくつかあったはずだ。」「新橋烏森口青春篇」(小矢野 2000)では、「どうせ飯を食うなら／食いに行くな」ということになる。

また、《どうせ(P)なら／んだったら⇒Q》の形式の場合は、Qは言語化されるのが普通である。端折り形式《どうせなら／どうせだたら⇒Q》の場合はQが必須であると言っていいだろう。

(22) 犬の散歩中の社長と犬の写真を撮りたいと言う社員の会話：

社員：「1枚 写真を撮らせてもらってもいいでしょうか？」

社長：「おっ…。あ… どうせなら一緒に撮ってやろうか？」

社員「じゃあ お願いします。」

《世界一難しい恋》第2話(日本テレビ 2016)

3.3. 《どうせP》の言いさし文

(13)「どうせ大した応援も出来ませんからねえ」(再掲)のように《Pのかたまり》の最後に「－(だ)から／(な)ので／し」等の理由を表わす終助詞化した語尾が接続している場合は、所謂言いさし表現⁵である。発話として完結しており、「どうせ」文に限らず継続文がないことが多い。それでも、聞き手には十分意図が伝達される。このような場合が多いことも、選択肢 Q が言外になることが多い理由のひとつであると思われる。勿論、言外だけでなく、文の前後に選択肢《Q または-Q》や選ばれた選択肢 Q が言語化されている場合もある。

(23) 弁護士が学校に現れて、生徒にアルバイトをしないかと言う場面：

弁護士：「どうだ？ 黙って立ってるだけで1万円だぞ。」

担任：「やっぱりあなたは悪徳弁護士ね。いくら理事長命令でも、私は自分の生徒が変なことに巻き込まれるのに黙って見てるわけにはいきません。水野さん、教室に戻って。」

弁護士：「じゃ、1万5千円だから！」
生徒：「やろうかな。どうせ暇だし。」
担任：「水野さん…」

《ドラゴン桜》第1話(TBS2005)

(24) 読まねばならない資料を前にした検事と事務官の会話：

検事：「読みましょ。」
事務官：「全部？」
検事：「朝までかかっちゃうかも。」
事務官：「今夜は妻とお祝いしようって。」
検事：「じゃあ、独り身の私が全部読めばいいのね？独りで。まあいいか。
どうせ帰っても独りだし。ここで独りで読んだって誰も心配しないしね。」
事務官：「あっ！あっ！キャンセルします。」

《HERO》第1話(フジテレビ2014)

(25) 少年が家政婦に喫煙を見咎められる場面：

家政婦：「未成年の喫煙は成長を妨げ頭も悪くなり、いつまで経っても大人になれないくせに一人前のふりをする弱い人間を育てるだけです。」
少年：「別にいいじゃん。どうせ頭悪いし。」

《家政婦のミタ》第5話(日本テレビ2011)

(23) では「どうせ」の直前の「やろうかな」が選ばれた選択肢Qである。(24)でも、前後に検事が「一人で読む」という選択肢Qを言語化しており、言いさしの「どうせ」文の伝達したい選択肢Qは明瞭である。(25)では、《P:(もともと)頭が悪い→吸ったところで頭の悪さは変わらない》ので「吸ってもいい(から吸う)」という選択肢Qが合理的に導き出されることになる。煙草を吸うか吸わないかという選択肢《Qまたは-Q》のある状況である。このような二択の選択肢の存在は、(23)(24)(25)のすべてにあてはまる。

言いさし文に関連して、「いっそ」という副詞を本稿の「どうせ」文の議論から検証してみたい。「どうせ」と「いっそ」は、板坂(1971)において、似ているという指摘があり、いずれも仮定条件節内に出現することから、有田(2005)にその分布についての研究がある。有田(2005)は、「どうせ」は理由節に現れることが可能で、「いっそ」は理由節が不可能であるという。

- (26) a. どうせ会えないから、帰ることにするわ。
b. *いっそ会えないから、帰ったほうがいい。(有田2005)

本稿の立場からこれを整理した場合、「いっそ」は、思い切った打開策を選択肢としてとる場合に使用される副詞なので、どうせ節にはもともと現れないということになる。渡辺 (2001) でも「どうせ～なら、いっそ～しよう」という同じ文中に組み合わせられた形で使用されることが指摘されている。(26) a を言いさし文にした (26') a 「どうせ会えない {から／なら／し}。」は容認されるのに対し、(26') b 「いっそ会えない {＊から／?なら／＊し}。」の容認度は低い。

(26) a の「どうせ」も b の「いっそ」も、こうして並べると比較対象のように見えるが、意志的な選択肢を述べるときに使う「いっそ」はもともと選択肢 Q につくものであるため、そもそも「どうせ」と「いっそ」は、置き換え可能な範列的 (paradigmatic) な単語ではないと言える。

3.4. 「どうせ」の効果と端折り

〈I〉選択肢提示型の「どうせ」文において、言語化されないことがあるのは Q だけではない。3.2.節では「どうせなら」で P が端折られるのを見たが、それ以外にも条件 P と選択肢 Q を結ぶ論理の展開は途中の流れがしばしば省かれる。もちろん、これは「どうせ」文に限ったことではない。聞き手は、不足する論理の展開の道筋を推論で補うからである。

(27) のように、「どうせ」が文中にある場合とない場合で、文の容認性が変わる例を見られたい。

- (27) a. 「どうせ間に合わないから、ゆっくり行くことにした。」
- b. ? 「φ 間に合わないから、ゆっくり行くことにした。」
- c. 「急いでも間に合わないから、ゆっくり行くことにした。」

(今西 2002 改)

(27) b も文法的に間違っているというわけではなく、実際の談話では、聞き手と話し手のおかれた物理的状況から意味解釈が行われるため問題はあまり生じないかもしれないが、状況次第では、(27') b 「(このままでは) 間に合わないから、走りなさい」という文も可能である。それに対して、(27') a 「どうせ間に合わないから走りなさい」や (27') c 「急いでも間に合わないから、走りなさい」は辻褄が合わない文となる。こうしてみると、やはり、a や c とは異なり、b はわかりにくい文なのである。(27) の場合、a、b、c のどれも P と Q は両方が一応は言語化されている。しかし、《P: 間に合わない》《Q: ゆっくり行く》間の論理の道筋 P' (例: 急いでもしかたないので) が言語化されていないため、(27) b ではわかりにくいのだ。(27) b のように「どうせ」を抜くとやや不自然だが、a が「どうせ」があるだけで文として落ち着くのは、なぜだろうか。「どうせ」があることにより、選択肢提示の

文であるという制約を聞き手に伝え、それが聞き手の解釈を助けるからだろう。談話標識である「どうせ」の使用のもたらす認知効果は、PとQの関係が「Pという動かない状況を前提に選択肢を述べるものである」という制約を聞き手に与えることによってもたらされる。言語化された発話の伝える情報が不完全であっても、その論理関係を聞き手にとって解釈しやすいものにすることができるのである。cがaと同様に、落ち着くのは「急いでも」は「急いでも急がなくても」のように非条件性が現れる選択並列性譲歩条件構文であり、「急いでも」が「どうせ」と同様のはたらきをしているためであると思われる。

4. 「どうせ」文の多義と目立つ形式について

4.1. 否定的とは言えない意味の表出

本稿では、〈Ⅱ〉確信不問型の場合には、話し手の命題内容に対する否定的な心的態度があったとしたが、〈Ⅰ〉選択肢提示型の「どうせ」文についても、「どうせ」に何かしら「否定的」なものを感じるという母語話者は多い。ここでは、〈Ⅰ〉選択肢提示型の多義性についてもう少し形式との関係を考えてみる。

小矢野(2000)は、「どうせ」文に共起する単語を調査し、全体的に見て否定的な名詞や述語が多く共起することから、「どうせ」にはある程度、否定的な意味が「やきついている」と結論づけた。しかしながら、小矢野(2000)も「どうせPなら～」の形式では内容的に中立的で、肯定的な内容もという結論を出しているように、必ずしもどちらかに文の内容が偏るものではないとしている。

「どうせPなら～」の端折り形式である「どうせなら」の形式では、その文に肯定的な内容が多いことは確かである。小矢野(21)「どうせなら日比谷公園に行こう。」(再掲)や渡辺(2001)の用例(28)「どうせなら一戸建にしない？」の他、本稿で集めた用例でも(22)「どうせなら一緒に撮ってやろうか？」(再掲)、肯定的な提案や意図表出の場面でしか使われていなかった。渡辺(2001)では、これを「どうせならQがよい」という形式にまとめている。次のような例はその形式の典型的な用例だろう。

- (29) モデル事務所の先輩と後輩の会話。たとえ話をすることによって先輩の意中の人物が誰なのかを本人に気づかせる場面：

後輩：「沈没しそうな舟があります。1人だけ助けられます。

さて、あなたは誰を助けますか？っていうやつ、わたし大っ嫌いー！」

先輩：「何で？今日で2度目だよ。その質問。」

後輩：「だって、何でわざわざそんな悲しいこと考えなきゃいけないんですか？

どうせならもっと楽しいのがいいな。」

《ロングバケーション》第10話(フジテレビ1996)

(29) の用例ではこの後続けて、もっと楽しいたとえ話が始まる。この「どうせなら」という端折り形式以外では、確実に中立～肯定的に傾くという決まった「どうせ」文の形式はなかった。

4.2. 「どうせ文」が与える印象の決まり方

「どうせ」文が否定的に聞こえるかどうかは〈I〉選択肢提示型の場合、《どうせ P、Q》の P と Q の組み合わせで決まると考える。しかしながら、一般的に「どうせ」という単語自体が否定的な意味を帯びていると認知されていることを書き言葉で度々目にするがある。本当に、「どうせ」だけで必ず否定的な文になってしまうのだろうか。(30) はベストセラー書籍『嫌われる勇気』の一節である。

(30) 一步踏み出す勇気をくじかれ、「状況は現実的な努力によって変えられる」という事実を受け入れられない人たちがいます。なにもしないうちから、「どうせ私なんて」「どうせがんばったところで」とあきらめてしまう 人たちです。

『嫌われる勇気』岸見一郎・古賀史郎 (2013)

「どうせ私なんて」「どうせがんばったところで」は、いずれも完全な文でなく、言いさしのような一部分だけであるが、これで十分、架空の話し手の自己肯定感の低さが伝えられる文になっている。似たような「どうせ」文がタイトルに入った書籍をざっと検索しても、(31) 『「どうせ無理」と思っている君へ』(植松努 2017)、(32) 『「どうせ自分なんて」にサヨウナラ』(吉田こうじ 2021) のような否定的なものが目立つ。しかし、同じく命題内容が否定的でも (33) 『どうせ死ぬなら自宅がいい』(近藤誠 2022) や (34) 『どうせならもっと上手に叱ってくれない?』(吉村直記 2021) ならどうだろうか。(30) 「どうせ私なんて」「どうせがんばったところで」や (31) 「どうせ無理」や (32) 「どうせ自分なんて」に続くのは、《P:自分には成功の見込みがない》ということが推論できる。そのため、何かに挑戦する前に諦めてしまうという選択肢 Q が存在すると解釈され、否定的に感じられる。それに対して、(33) は《P:人は死ぬ》という避けられない状況に対しても、「自宅で死にたい」という選択肢 Q があるために、否定的とは解釈されない。(34) 「どうせならもっと上手に叱ってくれない?」も《P:(相手が自分を)叱る》ことは避けられないにしても Q「上手に叱る」ことを要求すると言う点で (33) と同じである。

加えて、「どうせなら」でなくても、P がもともと否定的な内容ではない「どうせ」文もある。

(35) A:「駅までお送りしますよ。」

B:「いいよいいよ。ブラブラ歩いて行くから大丈夫。」

A: 「どうせ通り道ですから。」

《世界一難しい恋》第8話(日本テレビ2016)

この場合は、《P:駅に立ち寄るのは通り道である→P':たいした労力ではない》ので、聞き手のBに自分の車に乗ることを選択するように勧めていることになる。言いさしではなく続きがあるとすれば、「遠慮なく乗って行ってください。」や「送らせてください。」等だろう。聞き手Bはこの「どうせ」文が、申し出を受け入れることを勧める発話であると解釈する。特に否定的な事実を述べているわけでも、否定的な選択を勧めているわけでもない。「どうせ」がなくても発話に違和感はないだろうが、通り道であるということは、それが本当かどうかは別として、《動かない状況》として聞き手Bに示されている点で、より強く乗ることを勧める効果はあるだろう。

このように、本稿では、「どうせ」文の意味はPとQの組み合わせによって否定的になったり、そうではなくなったりするものであると捉えるべきであると考え。しかし、あくまでも、〈I〉選択肢提示型の「どうせ」文には伝えるべき選ばれた選択肢Qがあり、それとの関連性において想定であるPが示されると考える。

語用論的に「どうせ」文の多義を説明しようとした研究に Maynard (1993) がある。Maynard(1993)では、「どうせ」が示す P-W (possible world) に対する話し手の態度 (attitudinal information of confirmation) を、避けることができない運命 (unavoidable Fate) の受け取り方として三種類に分けた。

(36) Maynard (1993) の「どうせ」文の三分類

① Surrendering unto Fate

「同じことだよ。どうせ、俺は若い女向きじゃない。」

② Facing Fate Bravely

「その辺を心得ていて、どうせなら素直にしゃべって心象をよくし、一刻も早く放免してもらおうという心底が見て取れた。」

③ Confirming Fate

「もうどうせ帰るところだった」というようなことを言って、ちらりと腕時計をかざした。

Pを「避けられない運命 (unavoidable Fate)」と呼ぶのは少し言いすぎであるとしても、本稿の〈I〉選択肢提示型の「どうせ」文のPを《動かない状況》と捉える見方に類似している。また、その状況Pに対してどういう選択肢Qを選ぶのかについて、その選択肢の内容が一般常識に照らし合わせて、いかなる評価を与え得るものかという基準をもとに「どうせ」文を分類している。では、本稿との違いは何か。

本稿の〈Ⅰ〉選択肢提示型においては、当該の選択肢 Q は、その《動かない状況》P においては、合理的な選択肢として示されていると考える。その文脈では、既に選択肢《Q または-Q》が存在しているのであって、多くの無限の選択肢の中からよりいいものを選ぶということではないのである。そもそも、もしその《動かない状況》P から導き出される合理的な選択肢 Q が他にも無限にあった場合、話し手と聞き手で発話の解釈が異なってしまうだろう。「どうせ文」の選択肢は最初から状況にあり、決まっているのである。もっとも、結果的に、状況 P や選択肢 Q が絶望的であったり、選択肢が投げやりであったり、前向きであったりすることはあるため、それが文全体の意味として伝達されるということを否定するわけではない。

Maynard (1993) は、「どうせ」の使用は、自らの弱さをさらけ出し (exposing one's vulnerability)、聞き手との感情の交流 (emotional resonance) を図る目的を持っていると述べていることから、「どうせ」そのものに何か主観的な感情を伝えるはたらきがあると見ていると考えられる。これは Maynard (1993) の次のような日本語観と関係していると思われる。

...when speaking Japanese, one simply cannot avoid expressing one's attitude toward the content of information and toward addressee. Such personal voice echoes so prominently in Japanese communication that often in Japanese, rather than information-sharing, it is subtextual emotion-sharing that forms the heart of communication. Maynard(1993)

Maynard (2009) は、「日本語だけが感情を伝えるコミュニケーションをするわけではない」と断りながらも、日本語によるコミュニケーションにおける感情の共有に多大なる関心を寄せている。このような日本語感情論とでも呼ぶべき日本語観は、「どうせ」のような「その他の副詞」(益岡・田窪 1992) の語群が話し手の主観的態度を伝達すると考える立場でもたびたび見られる。しかしながら、日本語が、他言語と比べたときに、情報の共有よりも言外の感情の共有の方をコミュニケーションの中心に据えている言語であると言えるのかは甚だ疑問である。少なくとも、「どうせ」の役割そのものが、聞き手との感情の交流 (emotional resonance) を図る目的を持っているという見方に、本稿は同意しない。

4.3. 否定的な「どうせ」文とコピュラ文

本稿では、選択肢のない〈Ⅱ〉確信不問型の文型の場合、P の命題内容に対して程度の差こそあれ話し手は否定的であると考えとした。この文で示される内容は、話し手やあるいは聞き手にとって好ましくない事実である場合が多い。中でも、渡辺 (2001) が「ふてくされ」表現と呼ぶ例文 (37) 「どうせ私は馬鹿ですとも。」はひとつの類型を形成しているため、ここで触れておく。

(38) 「どうせ俺は下手クソだよ。才能なんかねえよ！」

《のだめカンタービレ》第2話（フジテレビ2006）

(39) 事務官：「ほーら。私と久利生さんとじゃ全然態度が違う。どうせ事務官ですよ。」

《HERO》第2話（フジテレビ2014）

(38) は、音楽科の学生が自分より才能のある学生と比較され、当たり散らす場面である。

(39) は、検察官と検察事務官が警察署に赴き、犯人確定の証拠となる監視カメラの映像をチェックしてくれるように刑事に頼む場面である。事務官が一人で依頼したときは断られているが、検察官である久利生が同行したことで検察側の要望が通る。検察官と事務官の身分の差で警察の態度が翻ったことに事務官が拗ねて言うセリフである。

このような (38) 「おれ＝へたくそ」 (39) 「わたし＝事務官」 のような命題内容と意味との関係はあるのだろうか。このような「どうせ (X=Y)」の文においては、「しょせん (X=Y)」との類似性が感じられる。形式としては、Y が属性を示す述語を持つ文が目立ち、その点も「しょせん」の文と似ている。『BCCWJ』で「所詮／しょせん」（短単位、書字形出現形、前後文脈 50 字）で検索し、形式を見ると、七割近くが (40) b のような「しょせん (X は) Y だ」の構造を持っていることがわかった。

「しょせん (X=Y)」の文では、聞き手が思っているよりも Y を価値がないものであるということを、話し手が思っていることが伝わる。もともとの Y の語義が、常に価値が低いと認定されるものでなくても、「しょせん」を使用することによって話し手の価値観が伝わるのである。

(40) a. 「きみは優等生だ。」

b. 「しょせんきみは優等生だ。」（作例）

「しょせん」がない (40) a では、文脈がなければ、「優等生」の意味に否定的な価値評価があるかないかはわからないが、(40) b では、「しょせん」の存在によって、この単文ひとつでも「優等生」の属性の中で悪い部分を意味していることが伝達される。『日本国語大辞典』によれば、「しょせん／所詮」も、もともとのような否定的な意味を持っていたわけではなく、古くは仏教用語として日本語に入ってきたとされている。次第に副詞として使用されるようになり、江戸時代には「所詮～ない」のように否定の呼応を伴う語義「どのようにしても」「どうせ」「到底」等が出たことが記述されている。「どうせ」も「どうせ (X=Y)」の形式で 사용되는ことにより、「しょせん (X=Y)」からの類推によって、否定的な意味が生まれた可能性もあるのかもしれない。

加えて、この類型の用例は、韓国語母語話者の多くが、(38) (39) のような場面での「於

此彼」の使用を不自然であるとしただけでなく、強いて言うなら、もしそのような文脈で韓国語「於此彼」を耳にした場合は日本語翻訳調や新派劇のセリフのように感じると答えたことから、日韓の過去に遡る言語接触との関連がありそうであるが、これに関しては、今後の課題としたい。

5. まとめ

日本語の「どうせ」は選択肢《Q または-Q》が文脈として存在している場合は〈I〉選択肢提示型の意味で使用されており、100%ではないが、韓国語の「於此彼」に翻訳可能である。選択肢が存在しない場合は、韓国語の「於此彼」には翻訳できない〈II〉確信不問型であり、「どうせ」文で述べている内容を話し手がある程度確信しているという意味になる。文の形式は必ずしも〈I〉と〈II〉で完全に異なるわけではないので、この違いを形式で判断することは「どうせ (P) なら」を除いてはできない。文脈状況に選択肢《Q または-Q》が存在するかどうかによって、聞き手は意味を判断していると考えられる。言い換えると、「どうせ」文の意味の理解に必要な文脈は選択肢《Q または-Q》の有無である。

これについては、次のような異議があるかもしれない。本稿が主張する〈I〉選択肢提示型と〈II〉確信不問型という区別は、日本語の「どうせ」文にあるとは言えず、それは、ただ韓国語に翻訳するときに役に立つだけの区別であるとする可能性である。しかしながら、韓国語母語話者が日本語の「どうせ」文の用例を「於此彼」に翻訳する際に、選択肢《Q または-Q》の有無で判断していると思われることから、選択肢の存在が意味分別に影響している可能性はあると考える。紙面の都合から数多くの調査した韓国語の用例を紹介することができなかったが、韓国語の「於此彼」を状況文脈が明瞭なドラマの中でひとつずつ確認することがなければ、この選択肢《Q または-Q》の存在が「どうせ」文の解釈に関係していることに気づくことはおそらくできなかった。

本稿を書くにあたっておこなった調査は、言語の形式と意味の関係を探るための活動というよりは、状況や推論も含めた文の意味と「どうせ」や「於此彼」の文内での容認性との関係を確かめる試みだった。その過程で一番役にたった発見は、「どうせ」の文中の位置は《P のかたまり》の中であれば比較的自由であり、これが、これまでの「どうせ」文の分析に混乱をもたらしていたという事実である。日本語や韓国語のように、語順が比較的緩やかで、かつ、必須の文の成分がしばしば省略される言語を分析する際には、言語化された文の成分をそのまま機械的に扱ってはならず、補充しながら意味を探る必要があることを最後に付け加えたい。

【註】

¹韓国語アルファベット表記は「韓国文化観光部 2000 年式」を使用する。

²文脈は単語の意味役割を探る上でも重要ではあるが、必要以上に文脈を広げる議論があったことに対する批判は、金谷 (2017) でも述べた。「A、やはり B」のような文で、「や

はり」に逆接用法があると認めればよいものを、「予想通りである」という意味をあくまでも固守するために、一般常識に照らし合わせて、本当は心の底ではBだと薄々気づいていたなどと広げてしまうのはいただけない。

³『延世韓国語辞書』には、「於此彼」の定義は「이렇게 하든지 저렇게 하든지 (こうしてもああしても)」とまず書かれ、「어떻게 하더라도, 어찌 되었든지 (どうやっても、いずれにしても)」が続く。

⁴渡辺(1980)の「見越しの評価」を持つ副詞の「誘導の職能(構文機能)」という言い方が指しているものと重なっている。

⁵白川(2009)では、「～から」「～し」「～ので」「～けど」等で終わる言語研究における所謂「言いさし文」は言いさしではなく、言い終わっており、それ自体で完結している文であるという。

【参考文献】〈論文〉

- 有田節子 2005.『『どうせ』『いっそ』の分布と既定性』『大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告』13: pp.1-16、大阪樟蔭女子大学日本語研究センター
- 有田節子 2006.『『どうせ』の意味と既定性』上田功・野田尚史(編)『言外と言内の交流分野』pp.35-45、大学書林
- 有田節子 2010.『『どうせ』の意味と unconditionality』『KLS』30: pp.227-241、関西言語学会
- Blakemore, Diane. 1988. 'So' as a Constraint on Relevance. R. Kempson (ed.) *Mental Representation: The Interface between Language and Reality*, pp.183-195. Cambridge University Press.
- 藤井聖子 2002.「所謂『逆条件』のカテゴリー化をめぐる」生越直樹編『シリーズ言語科学4: 対照言語学』pp. 249-280、東京大学出版
- 蓮沼昭子 2014.「副詞『どうせ』による構文と意味の統制: 連文機能の検討を中心に」『日本語日本文学』、24: pp.1-24、創価大学日本語日文学会
- 今西利之 2002.「副詞『どうせ』についての覚え書き」『熊本大学留学生センター紀要』6: pp.1-16、熊本大学
- 林禎映 2015.「近世語における副詞『どうせ』『どうで』の意味用法」『日本語学論集』11: pp. (90)167- (105)152、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室
- 坂板元 1970.「日本語の生態いっそ、どうせ」『国文学解釈と鑑賞』35(8): pp. 165-170、至文堂
- 金谷由美子 2017.『『やっぱり』についての一考察—『一致説』への反論—』『日本語・日本文化研究』27: pp. 183-193、大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻
- 加藤重広 2016.「第1章総説」加藤重広・滝浦真人編『語用論研究法ガイドブック』ひつじ書房
- 菊地康人 2005.『『どうせ』の用法の分析』石塚晴通教授退職記念会(編)『日本文学・敦煌学・漢文訓読の新展開』、pp. 734(421)-712(443)、汲古書院
- 小矢野哲夫 1996.「評価のモダリティ副詞の文章における出現条件—『幸い』と『せっかく』を例にして—」『日本語・日本文化研究』第6号: pp.1-16、大阪外国語大学

- 小矢野哲夫 2000. 「評価的な意味-副詞「どうせ」を例にして-」 山田進・菊地康人・靱山洋介（編）『日本語：意味と文法の風景－国広哲弥教授古稀記念論文集－』、pp.225-236. ひつじ書房
- 工藤浩 1982. 「叙法副詞の意味と機能：その記述方法をもとめて」『研究報告集』 第3巻、pp. 45-92、国立国語研究所
- 前田直子 2009. 『日本語の複文－条件文と原因・理由文の記述的研究－』 くろしお出版
- 益岡隆志 1991. 『モダリティの文法』 くろしお出版
- 益岡隆志・田窪行則共著（1992）『基礎日本語文法－改訂版－』 くろしお出版
- Matsui, Tomoko. 2002. "Semantics and pragmatics of a Japanese discourse marker dakara(so /in other words): a unitary account," *Journal of Pragmatics*, 34:pp.867-891.
- Maynard, Senko K. 1993. "Chapter4, Modal Adverbs Yahari/Yappari and Doose," *Discourse Modality: Subjectivity, emotion and voice in the Japanese language*, John Benjamins Publishing Company, pp. 120-149.
- Maynard 泉子. K. 2009 『ていうか、やっぱり日本語だよ。－会話に潜む日本人の気持ち－』 大修館書店
- 森本順子 1994. 『話し手の主観を表す副詞について』 くろしお出版
- 森田良行 1989. 『基礎日本語辞典』、pp.777-778、角川書店
- 中右実 1980. 「文副詞の比較」 国広哲弥（編）『日英語比較講座第2巻文法』 大修館書店
- 西川眞由美 2016. 「談話標識 so の多機能性についての一考察」『摂大人文学』 23: pp.25 – 42.
- 仁田義雄 1991. 『日本語のモダリティと人称』 ひつじ書房
- 吳珠熙 2010. 『「どうせ」の共起関係 と文類型 について－ 韓国語の副詞 『어차피, 이왕이면』との対照 を兼ねて－』『九州国際大学教養研究』 17 : pp.21-40、vfcb 大修館書店
- 白川博之 2009. 『「言いさし文」の研究』 くろしお出版
- Shiffrin, Deborah. 1987. *Discourse markers*, Cambridge University Press
- Sperber, Dan and Wilson Deirdre, 1993. Linguistic form and relevance, *Lingua*, Vol. 90, pp. 1-25.
- Sperber, Dan and Wilson Deirdre, 1995. 内田聖二・中達敏明・宋南先・田中圭子（訳）『関連性理論－伝達と認知－』 第2版 研究社
- 高見健一 1985. 「日英語の文照応と副詞・副詞句」『言語研究』、87 : pp.68-94.
- 武内道子 2015. 「第3章 文脈含意の導出〈どうせ〉」「第4章既存想定強化〈しよせん〉」、『手続き的意味論－談話連結語の意味論と語用論』、pp.57-89、ひつじ書房
- 谷崎和代 1994. 「談話標識についての一考察:『だから』を中心に」『大阪大学言語文化学』 3 : pp.79-93.
- 渡辺実 1980. 「見越しの評価『せっかく』をめぐる」『月刊言語』 Vol.9 No.2, pp.32-42、大修館書店

渡辺実 1996.『日本語概説』岩波書店

渡辺実 2001.『さすが！日本語』ちくま新書

〈辞典・事典・辞書〉

小学館 2006.『精選版日本国語大辞典』

中野弘三・服部義弘・小野隆啓・西原哲雄（監修）赤野一郎・他 15 名（編）2015.『英語学・言語学用語辞典』開拓社

日本語文法学会編 2014.『日本語文法事典』日本語文法学会

延世大学校言語情報開発研究院 1998.『延世韓国語辞書』斗山東亜

〈参考用例〉

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス：BCCWJ』

岸見一郎・古賀史郎 2013.『嫌われる勇気』ダイヤモンド社

近藤誠 2022.『どうせ死ぬなら自宅がいい』エクスナレッジ

植松努 2017.『「どうせ無理」と思っている君へ：本当の自信の増やし方』PHP 研究所

吉村直記 2021.『どうせならもっと上手に叱ってくれない？』すばる舎

吉田こうじ 2021.『「どうせ自分なんて」にサヨウナラ』ライトワーカー

日本ドラマ（脚本家アルファベット順）

脚本	タイトル	放送年	放送局
相沢友子	人は見た目が 100%	2017	フジテレビ
衛藤凜	のだめカンタービレ	2006	フジテレビ
藤井清美	恋愛時代	2015	日本テレビ
福田靖	HERO（シーズンⅡ）	2014	フジテレビ
古沢良太	リーガル・ハイ	2012	フジテレビ
古沢良太	リーガルハイ（シーズンⅡ）	2013	フジテレビ
古家和尚	LIAR GAME	2007	フジテレビ
秦建日子	ドラゴン桜	2005	TBS
金子茂樹	世界一難しい恋	2016	日本テレビ
北川悦吏子	ロングバケーション	1996	フジテレビ
北川悦吏子	オレンジデイズ	2004	TBS
宮藤官九郎	カルテット	2017	TBS
黒岩勉	謎解きはディナーのあとで	2011	フジテレビ
大石静・泉澤陽子	家族狩り	2014	TBS
龍居由佳里・林誠人・黒岩勉・旺季志ずか	ストロベリーナイト	2012	フジテレビ
八津弘幸	半沢直樹	2013	TBS

遊川和彦	家政婦のミタ	2011	日本テレビ
遊川和彦・菅良幸	GTO (1998)	1998	フジテレビ

韓国ドラマ・映画 (参考)

原題	放送年	放送局	原題	放送年	放送局
러빙유	2002	KBS	함부로 애틋하게	2016	KBS
오작교형제들	2011	KBS	치즈인더트랩	2016	tvN
음치클리닉	2012	LOTTE	검사의전	2016	MOONLIGHT & SANAI
응답하라 1997	2012	tvN	캐리어를 끄는 여자	2016	MBC
사랑비	2012	KBS	동네 변호사 조들호	2016	KBS
스탠바이	2012	MBC	또! 오해영	2016	tvN
옥탑방 왕세자	2012	SBS	38 사기동대	2016	OCN
너의 목소리가 들려	2013	SBS	이번 주 아내가 바람을 핍니다	2016	JTBC
원더풀 마마	2013	SBS	낭만닥터 김사부	2016	SBS
마녀의 연애	2014	tvN	시그널	2016	tvN
미스터 백	2014	MBC	질투의 화신	2016	SBS
고교처세왕	2014	tvN	쇼핑왕 루이	2016	MBC
라이어 게임	2014	tvN	더블유	2016	MBC
오 나의 귀신님	2015	tvN	내 사위의 여자	2016	SBS
사랑하는 은동아	2015	JTBC	미녀 공심이	2016	SBS
그녀는 예뻤다	2015	MBC	수상한 파트너	2017	SBS
너를 기억해	2015	KBS	빙구	2017	MBC
신분을 숨겨라	2015	tvN	보이스	2017	OCN
두번째 스무살	2015	tvN	맨몸의소방관	2017	KBS
풍당풍당 LOVE	2015	MBC	피고인	2017	SBS
사랑이 오네요	2016	SBS	완벽한 아내	2017	KBS
뷰티풀 마인드	2016	KBS	갯속말	2017	SBS
불야성	2016	MBC	쌈 마이웨이	2017	KBS
혼술남녀	2016	tvN	추리의여왕	2017	KBS

本稿は 2017 年度第 20 回『日本語用論学会年次大会』での口頭発表をもとに加筆修正したものです。